

宇都宮の歌

作詞：西条 八十
作曲：古賀 政男

「宇都宮の歌」は、市制60周年の記念事業の一環として、昭和31年に当時の商工課と教育委員会が中心となり制定されました。

当時の宇都宮市は、1町10か村を編入合併し、また、昭和29年には新市庁舎が完成するなど、本市にとって重要な節目となる出来事が重なる時期でもありました。こうした時代背景の中、新しい宇都宮を象徴し、市民に心から親しまれる歌を作り、歌を通じてまちづくりをしようという機運が高まり作られたものです。

詞の構成としては、1番が宇都宮市全般、2番が宇都宮市中心部、3番が観光地を歌ったものとなっています。

「宇都宮の歌」の楽曲や歌詞は、
こちらから確認できるよ。



宇都宮音頭

作詞：野村 俊夫
作曲：船村 徹

「宇都宮音頭」は「宇都宮の歌」とともに、市制60周年の記念事業の一環として制定されました。

現在も、地域の夏祭りなどにおいて踊り継がれているほか、栃木県最大級の夏祭り「ふるさと宮まつり」においても、踊りが披露されています。

歌詞には、「二荒山」や「大谷観音」、「鬼怒の流れ」など、本市の名所や豊かな自然が盛り込まれています。

「宇都宮音頭」の動画は、こちら
から確認できるよ。



もくじ



多様な人たちの思いや願いを集めていこう。

SDGs 宮っ子まちづくりプロジェクト 2
ここが、すごいぞ！ 宇都宮 4

1 宇都宮の歴史 6

1 宇都宮の幕開け 8
2 文武に秀でた宇都宮氏 20
3 城下町 宇都宮 32
4 戦災を生き抜いたまち 宇都宮 42
探究活動 宇都宮の歴史を紹介しよう！ 56
資料 宇都宮市歴史年表 58

2 魅力あふれる宇都宮 62

1 大谷石文化が息づくまち 宇都宮Ⅰ 大谷石をほる文化 64
2 大谷石文化が息づくまち 宇都宮Ⅱ 大谷石を使いこなす文化 74
3 スポーツのまち 宇都宮 84
4 食や芸術が華やぐまち 宇都宮 94
探究活動 宇都宮の魅力を調べて、その魅力を発信してみよう！ 104

3 未来へ羽ばたく宇都宮 106

1 よりよい宇都宮を目指して 108
1 「スーパースマートシティ」とSDGsへの貢献 112
2 持続可能なまちづくりの基盤「NCC」 120
2 誰もが住みやすいまちの実現を目指して 128
1 絆を深め、共に支え合う 地域共生社会の実現 128
2 人・モノ・情報が行き交う 地域経済循環社会の実現 140
3 CO₂排出量を実質ゼロとする 脱炭素社会の実現 148
探究活動 SDGs 宮っ子まちづくりプロジェクト 152



多様な人たちの思いや
願いを集めていこう。



歴史が 豊かなまち



宇都宮学



昔の宇都宮の人々は、
どんな暮らしを
していたのだろう？



未来へ 羽ばたくまち



これからの宇都宮は、
どんなまちになって
いくのだろう？



魅力が あふれるまち

現在の宇都宮には、
どんな魅力が
あるのだろう？



宇都宮学

中学校の学習

小学校の学習

教科等の学習

教科等の学習



*SDGs宮っ子 まちづくりプロジェクト

持続可能な宇都宮のため
に、わたしたちにできる
ことはなんだろう？



*SDGs宮っ子まちづくり
プロジェクトとは

持続可能な未来の担い手として、「宇都宮学」や他の教科で学習したことを手がかりに、実社会や多様な人々との関わりの中から問いを見だし、身近な社会の課題を解決するために、自分たちにできることを提案したり、実践したりする活動です。

宇都宮

宇都宮市の実力



住んでよし、働いてよし、宇都宮市は100年先も持続可能な都市として高く評価されています。

共働き子育てしやすい街 2024(総合編) 155市区中

保育所へ入りやすいことや、高校生相当までの医療費無料化をはじめ、子どもが病気のときでも安心して預けられる病児保育の実施や、学童保育の充実など、安心して子どもを産み育てられる環境の整備を行ったことにより、「共働き子育てしやすい街ランキング」にて、高い評価を得ています。

※日経xwoman×日本経済新聞社「自治体の子育て支援制度に関する調査」(2024年度版)
「共働き子育てしやすい街ランキング」より



住みよさ 人口50万以上の都市27市中

医療、福祉の充実度などを示す「安心度」、主に買い物の利便性を示す「利便度」、居住環境の整備具合などを示す「快適度」、財政力や住民の経済的豊かさを示す「富裕度」の4つの項目すべてにおいて高い評価を得ています。

※東洋経済新聞社「都市データバック」(2023年版)より



財政健全度 人口50万以上の都市27市中

都市の財政状態について、支出が収入の範囲内におさまっているか(収支)、外部環境の変化があっても柔軟に対応できるか(弾力性)、支出を税収でまかなえているか(財政力)、税収には安定した裏づけがあるか(財政基盤)、財政上の負担を将来世代に先送りしていないか(将来負担)の5つの項目について算出した「財政健全度」において、高い評価を得ています。

※東洋経済新聞社「都市データバック」(2023年版)より



自転車

自転車
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

自転車のまち宇都宮

毎年秋に「宇都宮ジャパンカップサイクルロードレース」を開催し、街なかでの「クリテリウム」や、1日で勝者を決める「ワンデイレース」としてはアジアNo.1のロードレースを実施しているほか、人や環境に優しい自転車を活用した取り組みを進めています。自転車走行空間の整備をはじめ、ライトライン停留場やバス停留所付近への駐輪場の整備、宮サイクルステーションの運営など、全国に誇れる「自転車のまち宇都宮」を目指しています。



©UTSUNOMIYA JAPAN CUP CYCLE ROAD RACE

餃子のまち

餃子で
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

宮っちは餃子が大好きです。1世帯当たりの年間購入額が2010年まで15年連続日本一、2013年、2017年、2019年と日本一の座を獲得しています。

また、毎年秋には、県外からも多くの観光客が訪れる「宇都宮餃子祭り」が開催され、餃子のまち宇都宮の恒例イベントとなっています。



餃子・カクテル・ジャズのまち

カクテルのまち

飲めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

パティンダー全国大会で優勝者を数多く輩出するなど、宇都宮には国内屈指の実力派パティンダーたちがそろっていて、カクテルを飲めるお店がたくさんあります。



ジャズのまち

ジャズ
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

世界的なアルトサクソフ奏者の渡辺真夫さんをはじめ、数多くのジャズプレイヤーを生み出しているまちです。市内には、ジャズのライブを開いたり、ジャズ音楽を流したりしているお店がたくさんあります。



プロスポーツのまち

宇都宮市には、宇都宮をホームタウンに活動するプロスポーツチームが多数あります。プロスポーツチームは、試合などのパフォーマンスを通して、市内外の人たちに夢や感動を与えるとともに、経済の活性化、青少年の健全育成や地域への貢献など、宇都宮市全体に様々な効果をもたらしています。

栃木SC(サッカー)

宇都宮市に本拠地を置いた最初のプロスポーツチームです。1947年に発足しました。

1994年に「栃木サッカークラブ」と改称しました。栃木県を代表するサッカーチームとして活動し、2009年からJ1リーグに参戦しています。



©TOCHIGI SC

Astemo宇都宮ブリッツェン(サイクルロードレース)

2009年1月に日本初の地域密着型プロサイクルロードレースチームとして発足しました。

国内で開催されるレースをはじめ、アジアNo.1のチームを目指して海外の大会にも積極的に参戦しています。



©Astemo 宇都宮ブリッツェン

宇都宮ブレックス(バスケットボール)

2007年6月に「栃木ブレックス」として発足しました。2009-2010シーズンにはJBL初優勝を果たし、日本の新たなトップリーグであるBリーグが始動した2016-17シーズンには、初代王者に輝きました。2019年7月に現在のチーム名称になり、2024-25シーズンには3度目の優勝を果たしました。



©TOCHIGI BLEX INC.

ホンダヒート(ラグビー)

1960年に本田技研工業株式会社鈴鹿製作所の同好会として発足しました。発足当初から三重県鈴鹿市を拠点に活動し、2021年に新たに発足した日本最高峰のリーグであるジャパンラグビーリーグワンに参戦、2023-24シーズンからトップカテゴリーのディビジョン1に所属しています。

2026-27シーズンから主たる活動拠点を宇都宮市に移転することを表明しています。



©ホンダヒート